The background of the slide is a light gray gradient with several realistic water droplets of various sizes scattered across it. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance.

スマホ・タブレット マスター養成講座の開講

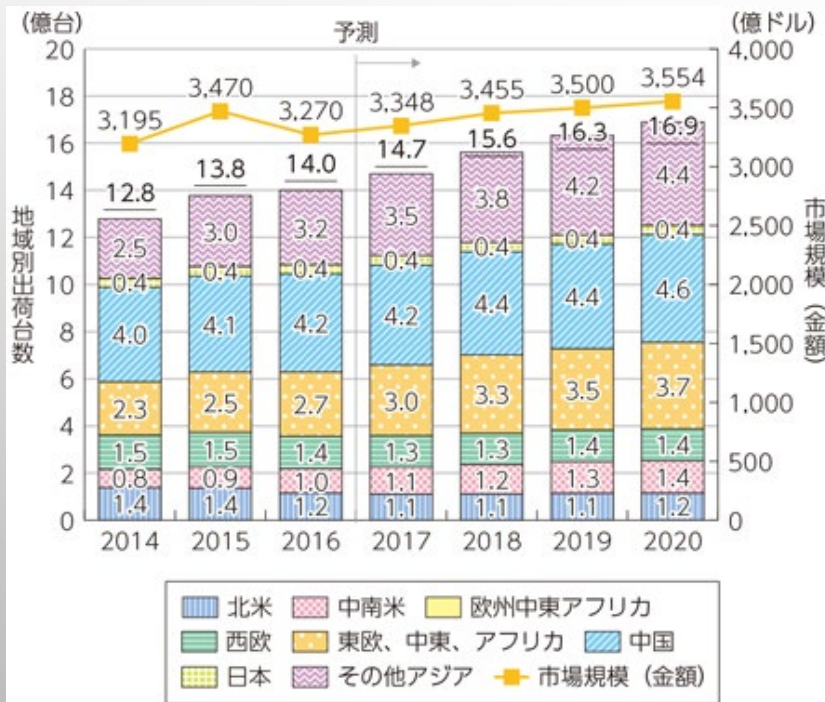
NPO法人信州ソフトウェア協会

新しいアドバイザーの必要性

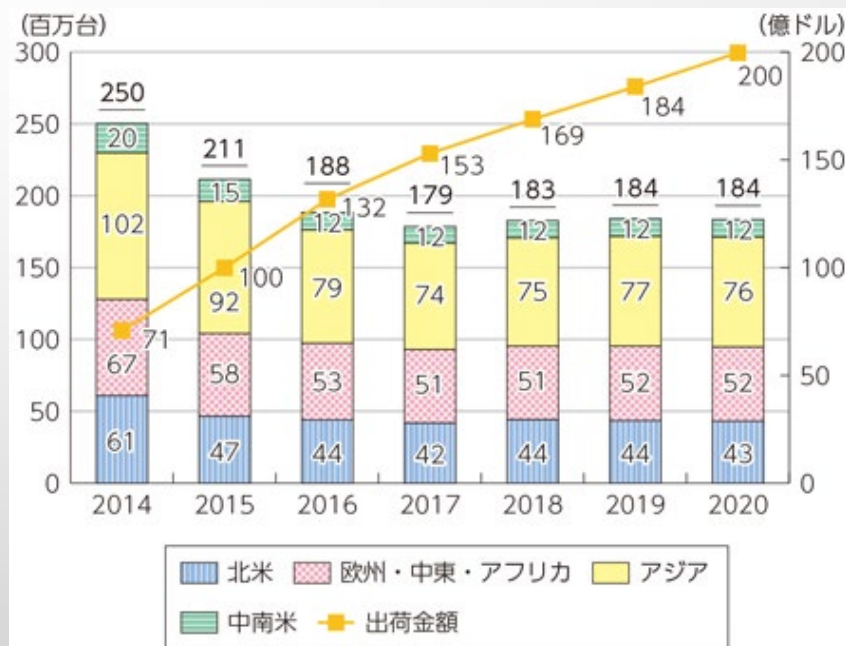
- パソコンの出荷台数が減少し、スマートフォン(スマホ)やタブレットの出荷台数が増加。 今やパソコンの優位性が逆転。
- 生活のあらゆる場面で便利さを提供するアプリがあり、情報端末を持ちあるくことが一般化した。
- 格安スマホの登場、総務省指導による月額料金のダウン。
- しかし未だにシニア層はガラケー利用者も多く拒否反応もある。
- かつて「買って後悔するモノ」のトップにスマホが挙げられていた。

スマートフォン・タブレットの出荷台数

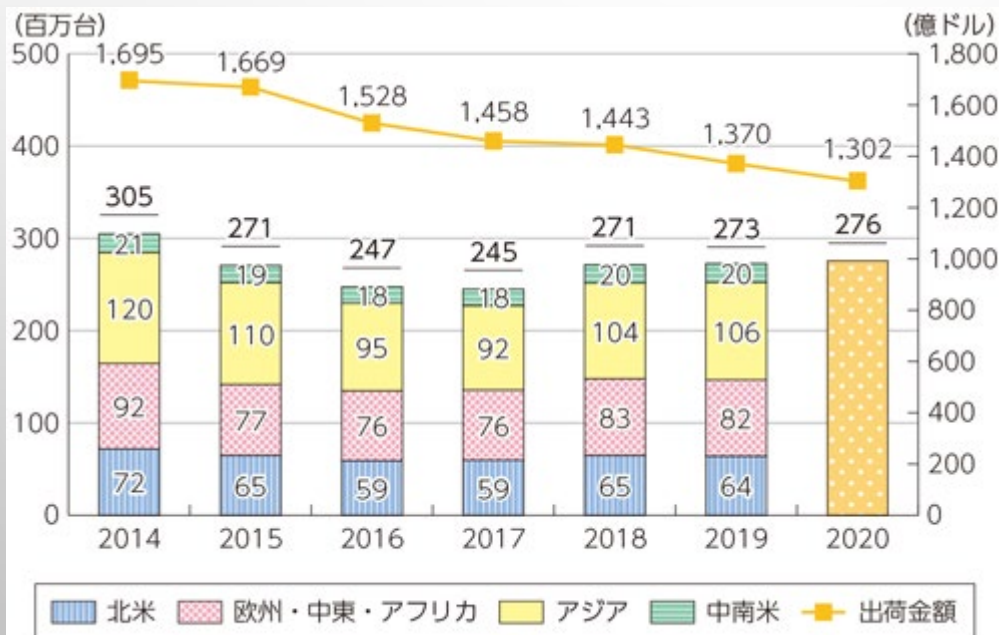
スマートフォン



タブレット



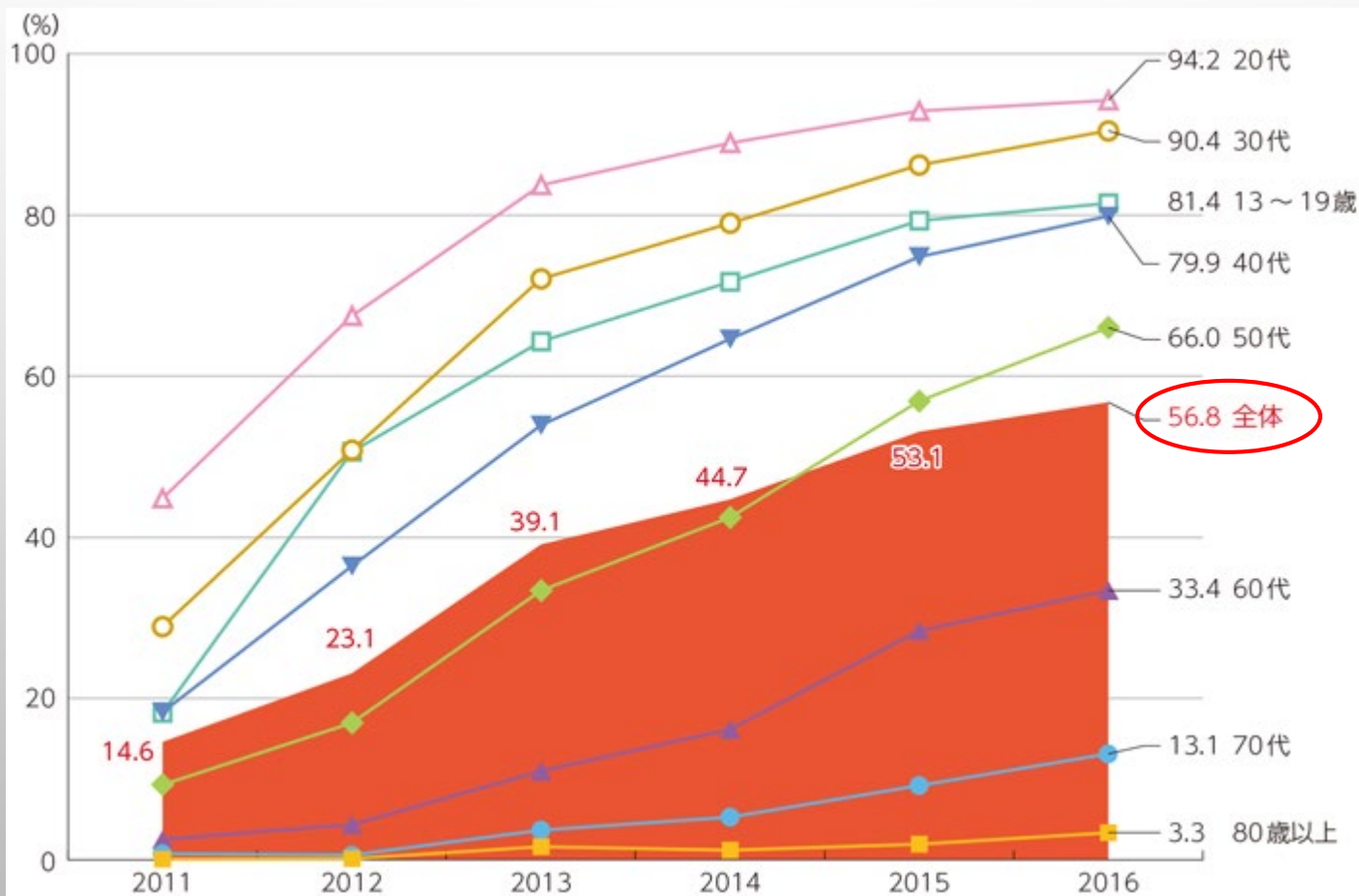
パソコンの出荷台数（総務省資料）



※2020の出荷台数地域別内訳データなし

2014年以降
ゆるやかな減少が続く

年代別スマホ保有率 (総務省資料)



アドバイザーに求められること

- スマートフォン(スマホ)やタブレットは、パソコンと何が同じで、何がどう違うているのかを説明できる。
- スマートフォン(スマホ)やタブレットを利用すると、日常生活の中で何がどう便利になるのか説明できる。
- スマートフォン(スマホ)やタブレットを便利に活用するための、アプリの操作方法が説明できる。
- メールやネットワークの初期設定ができる。

スマホ・タブレットマスター養成講座 カリキュラム

アプリコース

ある日の行動をシミュレーション

- スケジュール確認
- 乗換案内で経路を調べる
- 待ち合わせ場所の確認(マップ)
- テレビ電話
- お店検索(HOT PEPPER)
- 映画のチケット予約

各種設定コース

タブレットの初期設定

- ネットワークに接続
- メールアカウント設定
- スカイプ、SNSアカウント

アンドロイド編とIPAD編

スマホ・タブレットマスター養成講座 費用内訳

アプリコース 2時間×3回コース

- 受講料 3,000円×3回
 - テキスト代 1,400円
- (受講者には修了証を交付)

合計 19,700円

各種設定コース 3時間×1回コース

- 受講料 3,500円
- テキスト代 800円

資格認定オプション

- 登録料 3,000円(1回のみ)
- 事務手数料 2,000円

スマホ・タブレットマスター養成講座 授与される資格

シニア情報生活アドバイザー
資格保持者に対する資格

スマホ・タブレット
アドバイザー

シニア情報生活アドバイザー
ではない人に対する資格

スマホ・タブレット
マスター

(以前資格を取得した人を含む)

スマホ・タブレットマスター養成講座

受講資格と諸注意

すでにスマホ・タブレットを保持(利用)していること
(アンドロイド系・IOS系を問わず)

<受講上の注意点>

1. 受講はご自身の機器を利用します。(ネットワーク接続含む)
2. アンドロイド系とIOS系はテキストが異なりますので、どちらか選択して下さい。(マスター・アドバイザー資格に区別はありません)

アドバイザー・マスターの活動

- ご自身やグループが主催する各種講習会での講師、アシスタント
- 地域情報化推進のための各種サポーター活動、ボランティア活動

<不定期ですが、有償でこんなケースもあります>

- ニューメディア開発協会が請け負った中央官庁、企業等セミナーの講師もしくはアシスタント（経産省ITリテラシー推進事業）
- 信州ソフトウェア協会が請け負ったセミナー等の講師、アシスタント（総務省過疎地ICT推進事業・平谷村など）
- NTTドコモ代理店主催スマホ利用講座への講師派遣（商談中）

アドバイザー・マスターの活動 さらに・・・

現在、総務省では「デジタル活用支援員（仮称）制度」の仕組みを検討中です。これは今後予想される、さらに高度化したICTが普及する時代の到来に際し、特に高齢者等が取り残されないように、身近な人からICTの相談を可能にするような仕組みです。（民生員のICT版）

この中核として、地域ICTクラブ（平成30年から始まった、子供から高齢者までが世代を超えてICTを学習する場）や、シニア情報生活アドバイザー、スマホ・タブレットマスターの活用が見込まれます。